

抹茶茶碗「油滴天目」7×13×13cm

沖縄の海に透明度に拘りたいことから、透明釉ではなく透明のガラスを使用。独自に工夫したガラスと陶器の融合を基本として制作しています。

沖縄で採れる鉱石を主体に粉末にし、透明のガラスと融合、焼成処理によって沖縄の海の色を発色させています。

掲出の系統も沖縄で採れる鉱石を主体に制作しました。

マリンスプルのガラスは沖縄の海や琉球を彷彿とさせ、清満目貝のような景色は星空や宇宙をも想像させます。

ギャラリーを訪れる訪問客はもとより、海外の展示会でも高い支持を得ています。

金子晴彦 KANEKO HARUHIKO (贵歴521頁)